

H28年度 北大冠小学校里山体験学習

実施日:平成28年11月18日(金) 10:00~15:00 天気:晴れ
実施場所:楊梅山「ふれあいの森」

- 内容
1. 朝礼、楊梅山の見学
 2. 森の恵み講義
 3. 大木の間伐伐倒見学
 4. ヒノキの玉切り・皮剥ぎ体験
 5. カシナガ被害・捕虫器の見学
 6. ヤマモモ広場で
 7. 終礼



森の恵みの講義・質疑



大木間伐見学



玉切り・皮剥ぎ体験

H28年度 北大冠小里山体験学習記録

実施日：平成28年11月18日(金) 10:00～15:00

場所：楊梅山「ふれあいの森」

参加者：北大冠小学校 5年生:94人、先生:5人。生徒は12班に班別

高槻市農林課:2人

森林管理事務所:京都事務所:1人、箕面事務所:1人

高槻里山ネットワーク :23人

計:126人

小学校からの依頼事項

下記の事を生徒に話してほしい

1. 樹木の名を3種～5種は覚えさせて欲しい
2. ノコギリの機能、切れ方、使い方、注意点を指導して欲しい
3. イノシシのぬた場、アカマツ再生林、カシナガキムシの捕虫器の前では止まって説明して欲しい
4. 動物の骨の名札を裏返して置いて、生徒に当てさせて欲しい
5. 里山ネットワークの人はなぜこの森林保全の活動に熱心に参加されるのか熱意を語ってほしい
6. 森の植物や動物と人の関わりについて説明してほしい。桧尾川源流の話なども

学校の学習の目的は

1. 楊梅山を歩き、植物や生き物について学ぶ
2. 森の緑と里山の役割について学ぶ
3. 里山ネットワークの人々と出会い、森林の保護に取り組む人々の願いを知る
4. 友達と協力し、山歩きや林業体験を楽しむ

学校からは、市バスをチャーターして、川久保バス停まで来られるので、出迎え・先導した。倉橋会長、小柿副会長、戸田施業担当の3人で出迎えました。



川久保バス停到着



班ごとに出発 先導は小柿副会長



川久保の道を進む



スギ林を進む

今日の天気は快晴で、生徒たちは元気よく「おはようございます」と挨拶してくれた。1人バス酔いした生徒がいて気分を悪くし、先生が背負って入り口まで連れていかれた。森の空気を吸ってすぐ元気になったようでその後は元気であった。

1. 朝礼・楊梅山見学

1) 朝礼

楊梅山入り口広場に集合し、朝礼を行った。



生徒到着



久米村さんも到着



班毎に並んで座り朝礼が始まりました



倉橋会長挨拶 安全に、よく学んで下さい



久米村さん 大槻さんのご挨拶



高槻市農林課大石さんのご挨拶



会員班長さん紹介



川内副会長から山に入る時、施業するときの注意点を話す

2) 入山

尾根コース、イノシシ谷コースに分かれて入山しました



イノシシ谷コース出発
イノシシ谷コース



入山しますよ



足元に気を付けて下さい



ロープを持って階段を下る



高い木が多いですね ヒノキ林です



説明を受けながら林間に行く



桧尾川源流地点



水場を渡る



岩場の道を過ぎてもうすぐクスノキ広場です

2. 森の恵み講義と質疑

小柿副会長から質疑形式で、森の恵みの講義があった。生徒も活発に参加した



手ふりを交えた小柿副会長の森の恵み講義



会員も生徒の中に入って講義を聞きました

3. 大木の間伐見学

久米村、大槻さんのヒノキの大木の間伐するのを見学しました



久米村さんから間伐の説明



大槻さんが伐倒開始



倒れ初める



倒れます



見事に狙いの位置に地響きとともに倒れました
生徒からは思わず「おー」と歓声が出ました



年輪から樹齢40数年生です
つるも厚く幅一定

- ・大槻さんからは「今は女性でも間伐などの林業をすることが出来ます。皆さんも将来林業で働く希望が出ましたら、そのような道もありますのでどんどん森を守る仕事をして下さい。お待ちしておりますよ」との言葉がありました。

この大木間伐のあとは昼食となりました。

昼食の後は、すぐに倒されたヒノキの丸太に乗る遊びが始まりました



辻上先生の前で桧に乗って遊びました

順番待ちで休憩時間終了まで遊びました。
落ちた生徒はいませんようです

3. ヒノキの玉切り・皮剥ぎ体験

午後は林業体験です。今年はヒノキの小木は急斜面しかないので、事前に会員が除伐したヒノキを班毎に分かれて、会員から手ノコギリの機能、使い方、安全の指導を受けて玉切り体験、へらを使ってヒノキの皮剥ぎ体験をしてもらいました。2/3の生徒はノコギリ作業は初めてのようで、初めはぎこちないのですが、太めの木では半分から、細めの木では2回目からは大分慣れて楽しんでくれました。全員が真剣に取り組んでくれて、遊ぶ生徒はおらず他の生徒がのこぎりで引くのを手伝っていました。

玉切り体験・皮剥ぎ体験指導



玉切り指導



ヒノキの皮剥ぎ指導

玉切り体験

指導を受けた後は、生徒自身で玉切りに取り組んでくれました。切る子生徒以外はしっかりヒノキを抑えて応援です。



皆で協力しての玉切です



あーしんど。まだかなーと調べて何度も挑戦です



今度は私の番です。と頑張りました。

班長に見てもらいながらの玉切りです

皮剥ぎ体験

班ごとに会員から指導です。しっかり押さえてへらで手を切らないように注意して



皮剥ぎ指導



みんな皮剥ぎ



なかなか難しいなー



森の中での体験風景です

玉切り・皮剥ぎの後、一度クスノキ広場に集合しました。



集合してもまだだいぶ興奮していました。
力いっぱい作業しましたが元気です
この後、コースを変えて森を見学しながら、入り口に帰ります

5. カシナガ被害と捕虫器見学

コナラのカシナガ被害の木を見ながら、
クスノキ広場に向かい、捕虫器の説明
を受けました。



枯れた大木コナラは切って消毒しています



この捕虫器でたくさんのカシナガキクイムシを捕獲しました

6. ヤマモモ広場で

ヤマモモ広場では、楊梅山で最大のヤマモモの木の説明、その下の山のヤマザクラ展示
林の説明、シイタケ栽培実習地の説明を受けました。



この木が雄のヤマモモの木です
一番大きいヤマモモの木ですが実はなりません



会員から木の写真をしながら説明を
受けました。



ミツバツツジ展示林
ミツバツツジの実生の説明を
受けました



小鹿の誕生したところ
数年前ここで小鹿が生まれました



ここが楊梅山「ふれあいの森」です
また来てくださいねと紹介してくれました
予定時間に入り口に集合出来ました

7. 終礼

入口広場に班毎に並んで座り、終礼が行われました。生徒代表3人の感想とお礼の言葉があり、教頭先生からも大変有意義な里山体験学習が出来たと思います。これからも続けて行きたいとおもいますのでよろしくお願いします。と丁寧な感想とお礼の挨拶がありました。



今日は快晴に恵まれ、風も弱く、事故もヒヤリハットの報告もなく、里山体験学習をして頂く事が出来ました。

班毎に分かれて、帰りの川久保バス停に向かいました。



会員班長とタッチしてお別れです



全員元気に帰りました

お土産

会員の梨木さんから、生徒全員に竹トンボ・平行トンボ3点とウグイス笛が送られ、会員の田中 明さんから、備長炭12本が送られました。学校に帰って生徒に配られることになりました。

感想

今日は快晴に恵まれ、楽しく里山体験学習をすることが出来たと思います。会員も班の生徒たちの中に入り、よく説明をしていただいたと思います。森林事務所の方のヒノキの大木の間伐伐倒には、生徒が思わず歓声を上げて見学しましたし玉切り体験・皮剥ぎ体験では時間いっぱいまで遊ぶ生徒もいなく、夢中に取り組んでいまして会員も元気をもらえた事でしょう。

生徒に聞きますと、学校の遠足で山にハイキングに行ったこともないそうで、別の班で会員がのこぎりを使ったことがある人とは聞いた所、8人のうち3人であったとのことでした。そんな生徒たちが今日は、元気に力いっぱい「ふれあいの森」での体験を楽しんでくれたと感じました。